

# ポ ポ ポ 新聞

[Ponpoko News]

第 56 号



=発行=

2014年7月27日

喜多見ポッコ会議

www7.ocn.ne.jp/~ponpoko/



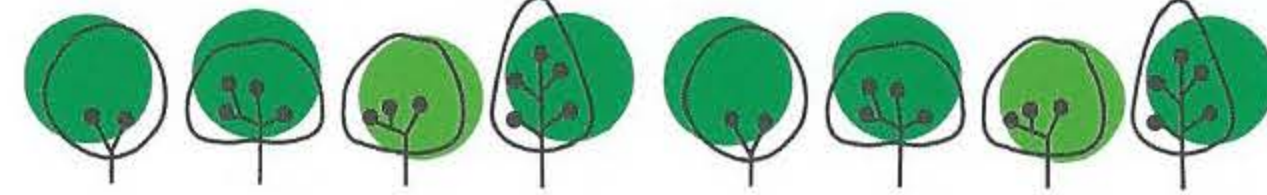
屋敷林を  
背景にした  
河野さんのお宅

# 河野さんの屋敷林

喜多見には屋敷林と一体となった素敵な風景がいくつかあります。  
今回は、まるで絵に描いたような河野さんのお宅取材しました。



河野通敬さん



## 河野家の歴史

河野さんについては、『ポ  
ンポ』新聞』で度々ご紹介し  
てきたように、もとは伊予国  
(愛媛県)にあり、中世の頃、  
江戸氏と河野氏が姻戚関係  
にあった縁から今も愛媛に  
は江戸さんが、喜多見には河  
野さんがおられます。

河野さんのお宅は、喜多見  
六丁目の国分寺崖線沿いに  
あります。昔は多摩川まで  
よく見えたそう、もとは水  
軍ですから、一子玉川あたり  
に住んでいる河野さんにと  
もに多摩川の任にあたってい  
たのかもしれない。

## 先人の知恵が詰まった 屋敷林

河野さんのお宅には、遠く  
からでもよく見える立派な  
屋敷林があります。

喜多見で屋敷林として植  
えられるものには、たとえば  
竹・カシ・ケヤキなどがあり  
ます。竹は、地面に根をよく  
張るため地震に強く、タケノ  
コは食料になり、生垣・竹ぼ  
うき・ざる・しゃもじなど日  
用品をつくる材料になります。  
カシは、木質が堅いので農具  
になり、火に強く火災の飛び  
火を防ぎ、その実は飢餓のと  
きの非常食になります。ケヤ  
キは、高いところまで枝が広  
がるため夏には日陰を作り、冬  
には葉が落ちて木漏れ日を入  
家に入れることができ、大黒  
柱や敷居や棧などの建材とし  
ても大切に育てられてき  
ました。さらに小枝は燃料や

冬の暖房になり、落ち葉は堆  
肥にして畑の土を作る、よい  
作物をつくるために欠かせ  
ないものでした。

屋敷林は、農家の暮らしに  
密着し無駄のない循環型の  
暮らしをしてきた先人たち  
の知恵が詰まっています。



国分寺崖線の斜面にある屋敷林の中

河野さんのお宅前の道沿  
いにはかつてケヤキ並木が  
ありましたが、枯れてしまっ  
たこともあり、今は一本だけ  
になりました。家屋の後ろに  
ある屋敷林はほとんどがシ  
ラカシです。木々の落ち葉は  
堆肥にして畑に漉き込んで  
います。昔は棒屋という人が  
いて、カシの木を鋏の柄、天秤  
棒、台車の軸などの農具に加  
工していたそうです。

## 夏は涼しい 冬は暖かい室(むろ)

屋敷林の下には手掘りの  
室(むろ)が二つあります。一  
つは昔のもので、四角く掘っ  
たので崩れてしまったそう  
ですが、夏は涼しいので、河野  
さんが子どもの頃そこに机  
を置いて勉強したり、戦争中

は防空壕としても使われた  
そうです。もう一つは今もサ  
トイモ、サツマイモ、シヨウガ  
などの種の保存に使っていま  
す。昔はこうした室が崖線  
沿いにいくつもあったそう  
ですが、病院坂の拡張など  
によって、この地域では河野  
さんのお宅だけになってしま  
いました。河野さんのお宅で  
は今も崖線の地形や屋敷林が  
活かされています。

## タヌキの糞家カモ

とウジで、河野さんのお宅  
では、昔、タヌキを飼って  
いたそうです。戦争中、寒さの  
厳しい満州へ出征する軍人  
の軍服に使うため、一般の家  
ではウサギ、河野さんのお宅  
では将校用にタヌキを飼う  
よう頼まれて三つがいほど  
飼っていました。しかしその  
うち終戦になり、売りに出  
たことはなかったそうです。  
小屋の鍵を閉め忘れてタヌ  
キが逃げ出すこともあった  
そう、喜多見で見かけるタ  
ヌキは、もしかしたら河野  
さんのお宅から家出したタヌ  
キの子孫かもしれません。



室の中から外を見る

さわやかな好青年

## 桜井祐樹さん



キタミ塾: 喜多見 3-22-20, tel&amp;fax.6411-1676

今年4月、喜多見3丁目のヒノキスポーツ隣にキタミ塾が開校しました。講師の桜井さん(39才)が喜多見小中学校出身だと聞き、お話を伺いました。

—— 子どもの頃の思い出は？

「小中学生の頃はサッカーに明け暮れ、休日も団地横のグラウンドでサッカーをしていました。ほかに、氷川神社や慶元寺のお祭りに行ったり、団地の商店で駄菓子を買って食べたりしていました」

—— なぜ学習塾を？

「もともと塾の講師をしていたので、喜多見を学習面で盛り上げていければと思います、宮島塾長とともに開校しました」

—— キタミ塾について教えてください  
「年中・年長から通えますが、現在は小学2年生から中学3年生の子ども達に通っています。塾のモットーは地域密着。子ども達が子どもらしく、一人ひとりの力を大事にしながら、小学生は中学校の勉強にスムーズに入れるように、中学生は部活も勉強も両立できるように指導したいと思います。夏休み、冬休みだけでも良いのでぜひ来てください」

喜多見6丁目 清水さんに聞く

## ちょっと昔のミーハー情報



ウルトラマンの怪獣工房もありました

喜多見2丁目の砧浄水場からまっすぐに伸びる水道道路が、世田谷通りと交差する所に、採れたて野菜も売っているクリーニング屋さんがあります。

「昔、野川の近くに円谷プロの工房があってウルトラマンの怪獣を作っていたんですよ」と清水さん。工房は鉄のタンクで囲まれた敷地の草むらの奥にあって、清水さんが子どもの頃、家の人から「寄り道しちゃだめよ」と言われながらも慶元寺幼稚園へ行く途中、気になって道端から覗き込んでいたそうです。

さらに「今、サミット成城店があるところや、少し前まで大蔵5丁目にあった東宝ビルは、黒柳徹子さん・久米宏さんのザ・ベストテンの中継によく登場していたんですよ」「今、大蔵団地があるところは昔は湿地で、黒澤明監督の『七人の侍』の撮影に使われたそうですよ」「撮影スタッフが撮影用にとグラスや氷つかみのセットを借りに来たこともありましたが」などなど。喜多見のあたりは昔からロケ地だったんですね。

みんなで作る野川その後

## 課題も発生

## 工事後の生きもの

5月17日(土)、春の野川ガサガサを行いました。工事終了後約1ヶ月で河床が安定せず、ズブズブと埋まって危険なため、限定した範囲で短時間でしたが、収穫はメダカ7・フナ7・シマドジョウ4・エビ33など11種類63匹、そのほか何かの魚の群れが泳いでいるのも見えて、スライドダウン工法により生きものが早く回復したのを確認しました。

新保育園の子ども達も参加



## 土砂がたまりプール状態に

しかし現在、前回工事区間との間を堰き止めるように土砂がたまって、せっかく造られた階段のあたりはプールようになってしまいました。

階段周辺はプール状態



7月16日、東京都の工事担当者と野川に入り状態を確認しました。堰き止められた影響で階段周辺の流れが弱く、悪臭の原因にもなっているようです。東京都とポンポコで対応を相談しています。

## 成城三丁目緑地の湧水



湧水は一旦ここに集まります

オーケーストアと道をはさんで山側の緑地を成城三丁目緑地といいます。緑地内には複数の湧水地があり、その湧水は、世田谷通りを渡って雁追橋左岸にある吐口からすべて野川へ入ります。湧水路を使って水生生物が緑地と野川を行き来する可能性を期待して、吐口の構造についても、現在東京都と多自然連絡会で相談しています。

## INFORMATION

## 野川①ごみ拾い②外来植物除去

[日時] 8月3日(日)①7:00②9:00

## 夏の野川ガサガサ

[日時] 8月9日(土)10:00~12:00

[持物] 長靴、(あれば)玉網、バケツ

[申込] 喜多見児童館tel.3417-9151

※ どちらも次大夫堀公園築山横の階段集合